

TETTO COLUMN ～館長のつぶやき～

㉟ 「かまいしの第九」 2022/12 「RE:TETTO」 No.60

今年は3年ぶりに「第43回かまいしの第九」演奏会が開催されます。昭和53年(1978年)12月16日(ベートーヴェンの誕生日)に旧釜石市民会館のこけら落とし公演として地元メンバーでの第1回のコンサートが行われて以来、東日本大震災の年も休まず演奏会を続けてきましたが、新型コロナウイルス感染症には勝てず、2年間の中断を余儀なくされてしまいました。私もこれまでの42回のコンサートのうち、恐らく35回くらいは演奏者(クラリネットやオーボエ)として参加していると思います。2017年のTETTOのこけら落としも「かまいしの第九」演奏会でした。耳が全く聞こえなくなり、自身の「孤独」と闘っていたベートーヴェンが、このような壮大で人間愛に満ちたシンフォニーを書いてくださったことに演奏家として感謝しかありません。いつしか第九は私のライフワークとなりました。館長と演奏者の二刀流をお楽しみください。



2017年12月10日 第40回「かまいしの第九」

㉟ 「ふらっとおでんせ」 2023/1 「RE:TETTO」 No.61

釜石市民ホールでは、コンサートやミュージカル、朗読劇、寄席など、皆様に喜んでいただけるような催しを数多く(県内でも有数の本数です!)手がけており、お得な料金設定にて皆様のご来場をお待ちしているところですが、ホールをいっぱいのお客様で埋めることはなかなか難しいのが現状です。そんな中、「TETTO ふらっとコンサート」という、どなたでも気軽に自分のペースで鑑賞していただける無料のロビーコンサートを立ち上げました。釜石商工会議所青年部様からのストリートピアノの寄贈もそのきっかけとなり、最近では市民の皆様より、このピアノの活用も含め共通ロビーでの無料コンサートやイベント等のご提案もいただくようになりました!このような市民の皆様からの要望にも真摯に耳を傾け、これからもTETTOは中心市街地の賑わい創出に寄与していきたいと思っております。



TETTO ふらっとコンサート vol.1 2022年9月

㉟ 「大きなガラス屋根の広場」 2023/2 「RE:TETTO」 No.62

TETTOの目の前には大きなガラス屋根の広場があります。ホールの愛称「TETTO」は、イタリア語で「大きな屋根」という意味もあり、まさにホールにとっては象徴的な場所となっています。最近ここでさまざまなイベントが行われていることをご存じですか?今年度だけでも「百円市」「軽トラ市」「まぐろ祭り」「吹奏楽コンサート」「手仕事マルシェ」「ポルダリング体験会」などが開催されました。また以前には、露店の屋台村やクラシックカーの展示会、ラグビーワールドカップファンゾーン、ミュージックフェスなども行われ、天候をほとんど気にせず、手軽にイベントを開催することができるため、その利用は年々増えつつあります。まだまだその活用方法は無限大。今はちょっと外が寒いですが、今のうちにおもしろい利用(使用)方法を温めていただき、ほっこりとした利用をしてみませんか。



2022年8月に開催した「百円市」 写真:釜石新聞 News5

㉟ 「電気・ガス料金高騰!」 2023/3 「RE:TETTO」 No.63

昨年から食品を中心とした各種商品の値上げ、そして各家庭に大打撃を与えている電気・ガス料金の高騰には皆さんも四苦八苦していることと思います。TETTOもご多分に漏れず、毎月の電気・ガス料金の請求書にはびっくりするような数字が並んでいます。本来なら共通ロビー、ホワイエなど市民の皆さんに無料でご利用できるスペースにはそれなりの灯り(照明)と冷暖房が必要となりますが、昨年の暮れから2階フロアについてはほぼ全日消灯、外観のライトアップも当面中止、また細かな所ではトイレの便座や温水も最低温度に設定するなど、市民の皆様にご迷惑をおかけしないギリギリのところまで節電・省エネに努めております。TETTOは暗いなあと感じる方もいらっしゃると思いますが、皆様のご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。



節電・省エネ実施中の2F ホワイエ